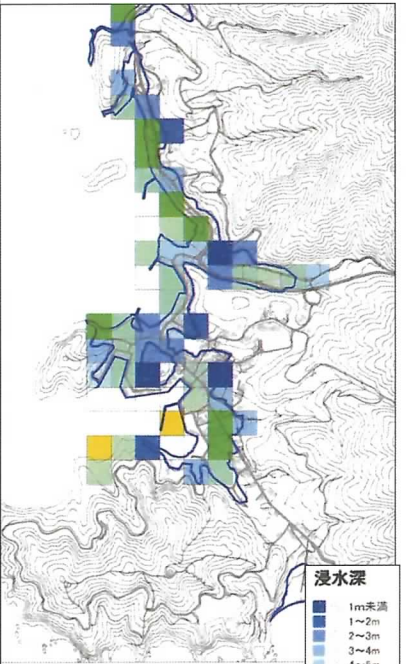
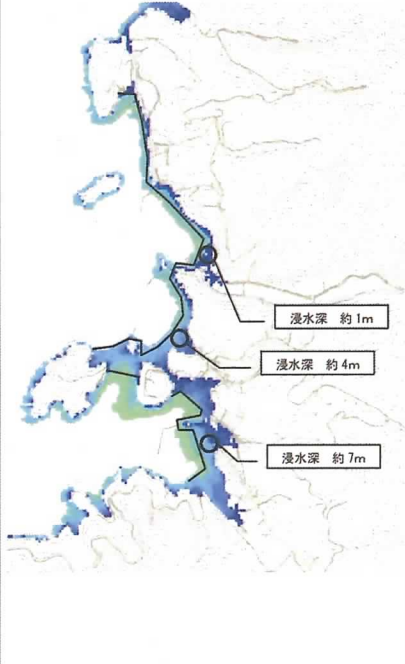
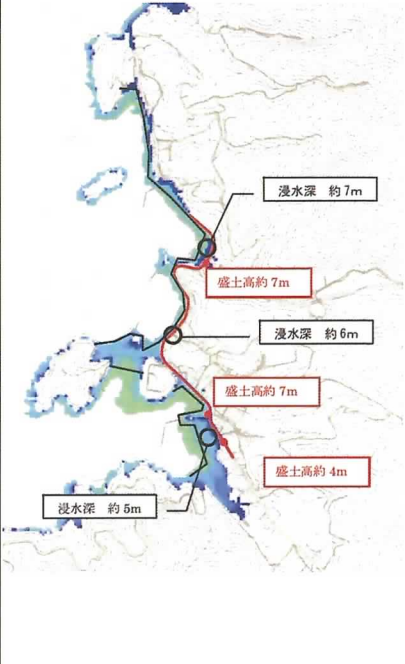
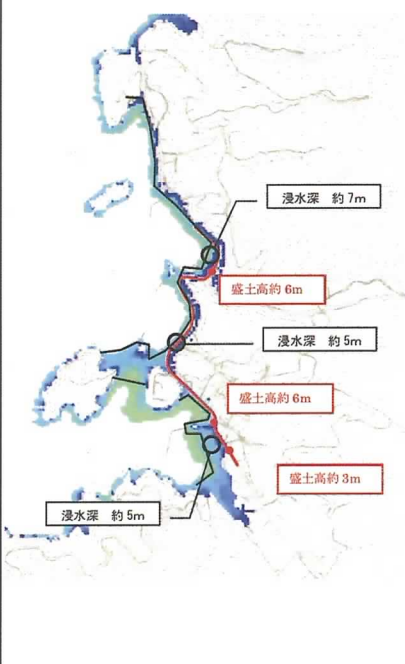


■赤崎地区②（蛸ノ浦）

この資料は、国及び岩手県における海岸保全施設の整備目標の検討状況を踏まえ、大船渡市が土地利用方針の検討のために実施した津波シミュレーションであり、今後、整備目標の決定や予測計算結果の精査、関係機関との調整によって変更になる可能性があります。

検討ケース	1. 3/11 時の津波（今次津波）の浸水深【浸水結果】	2. 防潮堤のみ整備の場合の津波シミュレーション (既往最大津波(東日本大震災津波)の場合)	3-1. 防潮堤+道路嵩上げ整備の場合の津波シミュレーション【道路嵩上げで止めるケース】	3-2. 防潮堤+道路嵩上げ整備の場合の津波シミュレーション【浸水深2mまで許容するケース】
<p>図面</p>	 <p>※100m メッシュ</p>	 <p>※10m メッシュ (湾口防波堤 T.P.+10.4m, 防潮堤 T.P.+7.2m)</p>	 <p>※10m メッシュ (湾口防波堤 T.P.+10.4m, 防潮堤 T.P.+7.2m)</p> <p>道路嵩上げの高さが最低 T.P.+9.0m あれば、背後の浸水を防げる。</p>	 <p>※10m メッシュ (湾口防波堤 T.P.+10.4m, 防潮堤 T.P.+7.2m)</p> <p>道路嵩上げの高さが T.P.+8.0m あれば、背後の浸水深が 2m となる。</p>
<p>考察</p>	<ul style="list-style-type: none"> 湾口防波堤 (T.P.+10.4m)、防潮堤 (T.P.+7.2m) の整備にあわせて、道路嵩上げを約 4~7m 行うことで浸水を防ぐことができる。 ただし、道路の嵩上げが防潮堤を超える高さとなり、極端に高いものとなる。また、急峻な地形が海岸部まで及んでいることから、道路の嵩上げを高くすると平地の確保が難しくなるため、道路の嵩上げを行わないものとする。 防潮堤のみで防護する場合でも、浸水区域が部分的であることから、一部住居の高台移転や宅地の嵩上げなどで対応するものとする。 			

— : 防潮堤の位置 (シミュレーション上の想定) — : 道路嵩上げの位置 (想定)